

埼玉県下の市町村における環境マップの整備状況に関する実態調査

正会員○大橋三千夫^{*1}
同 三浦昌生^{*2}
同 久保田徹^{*3}
宮原享典^{*4}

環境マップ 埼玉県 ヒアリング調査

1. はじめに

地球環境時代の市民の環境意識の高まりの中で、市民、環境行政、開発・建設事業者等の様々な主体が環境を正確に客観的に把握する必要性が高まっている。ところで、地図は情報を客観的に把握するための手段として有効であり、そこで、環境マップを「地図を媒体に環境を客観的に把握するための一つの手段」として位置づけ、以下論じていきたい。

市民、環境行政、開発・建設事業者（行政を含む）における環境マップのあり方は次のとおりと考えられる。

- ①市民：環境意識の高まりからの環境マップ
- ②環境行政：環境保護の必要性からの環境マップ
- ③開発・建設事業者（行政を含む）：環境に配慮した設計を支援する必要性からの環境マップ

このうち、開発・建設事業者にとっての設計支援型の必要性は特に高くなっているといえる。そこで、本研究では、埼玉県を例とした実態調査によって、行政における環境マップの整備状況および使用状況を把握した。

2. 環境部局に対する調査

①ヒアリング調査

98年10月に、県南部の9市（越谷市、所沢市、川口市、浦和市、上尾市、川越市、狭山市、春日部市、大宮市）の環境担当部局の職員を対象にヒアリング調査を行った。調査項目は、環境マップの整備状況のほか、各部局間での環境情報の伝達について、また、地図情報データベースの整備状況についてなどである。

この結果、環境部局で環境マップを作成しているケースは少なく、また、自治体により整備状況や今後の取組みに差があることがわかった。先進的な取組み事例としては、大宮市が88年度から3ヶ年にわたって大宮市エコ・マップ（環境特性調査報告書）を作成していたことや、越谷市が環境に関する情報の地図によるデータベース化を図っていることがあげられる。

②整備状況調査

県環境生活部を通じて、市町村環境担当課における環境マップの整備状況を照会した。

この結果、県下の92市町村のうち、「不明」と「該当なし」と回答した市町村を除く62市町村が何らかの環

A Field Survey of Present State of Environmental Map Maintenance in Local Governments in Saitama Prefecture

境マップを整備していることがわかった（図1）。このうちの57市町村が作成した地図を入手した。表1は、これらの地図のうち、公害、自然環境、遺跡文化財に係わる地図のリストである。

多くの市町村が環境マップとしてあげたものは、都市計画的なものとしては、都市計画図、土地利用図、公園位置図があり、自然環境的なものとしては、緑地位置図、動物・植生図、また、歴史環境的なものとしては、遺跡分布図、文化財マップがあった。このうち、都市計画図、土地利用図、遺跡分布図や文化財マップはほぼ全県にわたり整備されていることがわかった。一例として、遺跡文化財に係わる地図の整備状況を図2に示す。

一方、公園位置図、緑地位置図、動物・植生図の緑や自然に係わる地図は、全県的に整備されておらず、開発が進んでいる県南部の市町村で多く整備されていることが特徴的であった。これは、開発が進むと、逆に緑や自然の重要性がより認識されるためであると考えられる。一例として、動植物に係わる地図の整備状況を図3に示す。

3. 開発部局に対する調査

環境部局に対するヒアリング調査では、「環境部局で作成された環境マップは他の部局で利用されていない」というコメントがあった。そこで、98年12月～99年1月に、県及び5市（川口市、上尾市、春日部市、富士見市、桶川市）の都市計画や建築担当部局の職員を対象に、使用頻度の高い地図や今後必要性が高まると思われる地図についてのヒアリング調査を行った。

この結果、通常業務で使用する都市計画図、用途地域図、農業振興地域図、土地利用現況図、道路等都市基盤整備図、湛水図、公害（工場、騒音、大気、騒音、振動、水質）に係る地図、遺跡文化財に係わる地図については必要性を認めているが、環境部局等が作成した環境マップの整備状況については十分把握されていない実態が明らかとなった。しかし、環境に配慮した建設や開発を行う上で、風配図、気温・湿度図、動植物の分布等の環境マップについては今後必要になるとの認識を持っている担当者がいた。

今後、環境基本条例や環境配慮方針など環境に対する

自治体独自の規制等が整備されるに従い環境マップはますます必要なものとなろう。

4. 今後の課題

本研究では、埼玉県内の自治体を対象に調査を行ったが、今後は民間の開発・建設担当者に対するヒアリング調査を行うとともに、一般市民からの環境マップのあり方について調査研究する必要があろう。さらには、市民ニーズや設計支援の視点から有用、有益な環境マップのあり方を検討すべきであろう。

ところで、三浦研究室では、環境に关心のある市民（環境モニター）を対象に居住環境の把握を行っている。その調査結果を参考に、モニターの様々な意見から、環境マップとして必要な項目をいくつか例示すると表2のごとくである。

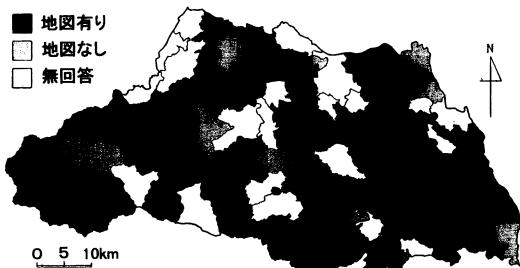


図1 埼玉県下の市町村の環境マップの整備状況

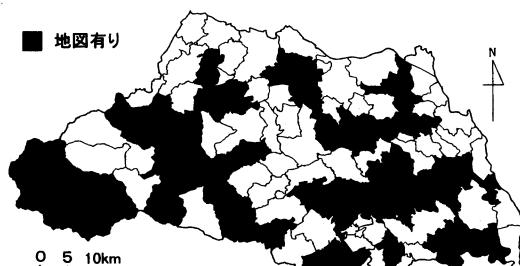


図2 遺跡文化財に係わる地図の整備状況

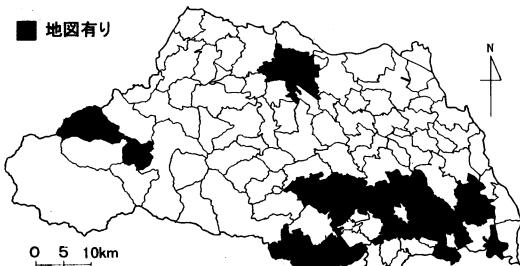


図3 動植物に係わる地図の整備状況

表1 各市町村で整備された環境マップリスト

市町村名	地図名	備考
福音	自動車公害の現況と発生 に係る環境条件図	大宮市エコマップの一部
	川越市 佐藤支交差点音響・騒動調査地点図	4ヶ所の騒音測定点を表示
	狭山市 駐留音量地図	国道、県道4分の所の測定地点を表示
	所沢市 道路交通騒音・航空機騒音現況図	航空騒音は3ヶ所の測定地点を表示
水質	大宮市 生活排水公害の現況と状況図	大宮市エコマップの一部
	狭山市 水質調査地点	11カ所のBOD調査地図
	所沢市 水質汚濁の現況図	BOD 平成12年度平均値4段階に色分け
	大宮市 生活排水公害の現況と状況図	大宮市エコマップの一部
大気	川越市 二酸化窒素濃度分布図	18地点の平均値を5段階で表示
	大宮市 大気品質監視測定局配置図	4地点の測定局を表示
	狭山市 大気染色度調査地点	大気調査地点、自動排ガス調査地点
	所沢市 一般道路における 二酸化硫黄濃度分布図	測定地図の21ヶ所に分割し3段階で色分け
地盤沈下	大宮市 生活排水公害の現況と状況図	大宮市エコマップの一部
	所沢市 地盤沈下等警戒図	マツナ100mm、マナス50mmの線で表示
	電波障害 対策施設	電波障害対策の実施済区域
	所沢市 公害の発生に係る環境条件図	大宮市エコマップの一部
河川・水路	大宮市 公害による環境条件図	大宮市エコマップの一部
	大宮市 河川・水路図	河川、都市下水路、用水路等を表示
	草加市 水路図	河川図より隣接する水路等を表示
	所沢市 河川・橋梁図	河川の橋、市街化地域等を表示
湧水	大宮市 水資源作用等に係る環境特性図	大宮市エコマップの一部
	川越市 漏斗分布図	現在、過去の湧水の位置及び過去の井戸
	伊奈町 地形と類似水の分布	現在、過去の湧水の位置
	大宮市 地表の運動に係る環境条件図	大宮市エコマップの一部
水害	大宮市 水害による環境条件図	大宮市エコマップの一部
	大宮市 地盤調査件件図	大宮市エコマップの一部
	大宮市 地盤調査件件図	大宮市エコマップの一部
	大宮市 地盤調査件件図	大宮市エコマップの一部
森林	朝霞市 地盤調査件件図	大宮市エコマップの一部
	岩槻市 保根樹木、保護地区等を表示	保根樹木、保護地区等を表示
	狭山市 緑地の現況図	自然林、二次林、草地、水田等に分類
	大宮市 森林の育成状況図	大宮市エコマップの一部
地盤	大宮市 地盤調査件件図	大宮市エコマップの一部
	川越市 公園緑地等記載図	大宮市エコマップの一部
	草加市 観葉植物等内園	保根樹木、保護地区等を表示
	所沢市 稲荷山分立空氣図	航空写真
植物	大宮市 指定樹種位置図	保根樹木を含む地区を表示
	東松山市 公園緑地等の位置図	公園、緑地を記号で表示
	八潮市 綿草分立地の分布	綿草林、綿地を分け
	入間市 現存樹種図	自然植生、代償植生、その他の3種で色分け
動物	川越市 潛在自然種図	16種で色分け
	川越市 気類・生態生物の代表種と構造図	川辺の地区それぞれを14種で色分け
	狭山市 現存樹種図	33種で色分け
	志木市 現存樹種図	12種で色分け
気象	八潮市 植物のようす	全体図、5地区を色分け
	川越市 気類・生態生物の代表種と構造図	48種の魚類、生態生物の分布
	熊谷市 出かけよう市内自然観察マップ	鳥類、魚類の分布を記号で表示
	八潮市 ラストマップやおの自然	鳥類、昆蟲、魚類の分布をイラストで表示
遺跡文化財	大宮市 気温・湿度・風速測定点図	気温湿度10ヶ所、風10ヶ所の観測地点
	伊奈町 气象分布図	朝昼夜の气温分布図
	伊奈町 气象分布図	朝昼夜の湿度分布図
	伊奈町 冬の吹向図	矢印で表示
文化財	大宮市 遺跡分布図	風速の段階で表示
	大宮市 文化財・道路等の分布図	大宮市エコマップの一部
	熊谷市 墓原文化財包蔵地地図	埋蔵文化財包蔵地を表示
	鴻巣市 文化財分布図	遺跡の存在する可能性が高い地域を表示
自然	鴻巣市 文化財分布図	県、市指定文化財、埋蔵文化財包蔵地を表示
	北埼玉市 遺跡分布地図	埋蔵文化財包蔵地、史跡などを色分け
	新座市 遺跡分布地図	埋蔵文化財包蔵地、発掘調査済み区域を色分け
	大井町 遺跡地図	遺跡地を色分けし、防火止用表示
歴史	白岡市 遺跡マップ	埋蔵文化財包蔵地、紀希地を色分けして表示
	花園町 埋蔵文化財包蔵地地図	包蔵地の範囲を記号で表示している
	管野町 文化財地図	埋蔵文化財包蔵地を表示
	三芳町 遺跡図	埋蔵文化財包蔵地、史跡などを色分け
歴史	春日居町 埋蔵文化財包蔵地地図	埋蔵文化財包蔵地、可能性がある地域を色分け
	大宮市 遺跡地図	遺跡、名跡、埋蔵文化財包蔵地を色分け

表2 モニターの意見から想定される環境マップ

項目	地図(例示)
安全・健康性	避難場所図、病院マップ
利便性	公共施設位置図、バス路線図
自然・歴史性	微地形マップ、神社・仏閣マップ
土地利用、都市景観、都市基盤整備	都市景観マップ、都市ガスマップ
音・大気・水・電波環境、気候性	音環境マップ、ダイオキシンマップ
コミュニティ、文化性	まちの雰囲気マップ、自治会マップ

* 1 埼玉県
* 2 芝浦工大教授 工博
* 3 芝浦工大大学院博士課程
* 4 太平エンジニアリング

Saitama Prefectural Government
Prof., Shibaura Institute of Technology, Dr. Eng.
Graduate School, Shibaura Institute of Technology
Taihei-Engineering